

令和3年度第1回滝沢市社会教育委員会議（顛末書）

- 1 件 名 令和3年度第1回滝沢市社会教育委員会議
 2 日 時 令和3年7月16日（金）午前10時から正午まで
 3 場 所 滝沢市役所2階201・202会議室
 4 出席委員

委員14人のうち12人の出席であり、規則第5条に基づき会議は成立する。

No	氏名	役職	所属など	出欠
1	嶋野 重行	議長	盛岡大学短期大学部 教授	○
2	村上 四郎	副議長	滝沢市陸上競技協会理事	○
3	菅野 道生	委員	岩手県立大学 社会福祉学部 准教授	—
4	小野 保	委員	国立岩手山青少年交流の家所長	○
5	市村 康之	委員	滝沢小中学校校長会監事（篠木小学校長）	○
6	柳橋 民治	委員	滝沢市自治会連合会副会長	○
7	土井尻たき古	委員	滝沢市地域婦人協議会副会長	○
8	主濱 恵悦	委員	滝沢市子ども会育成連合会長	○
9	深澤 千春	委員	滝沢市PTA連絡協議会副会長 （一本木中PTA会長）	○
10	佐々木 昭司	委員	滝沢市芸術文化協会副会長	○
11	切金 一夫	委員	滝沢市少年補導員連絡会長	○
12	渡辺 炎如	委員	滝沢市商工会青年部副部長	○
13	大畑佳代子	委員	滝沢市国際交流協会 事務局長	○
14	小島 勝子	委員	滝沢市レクリエーション協会会長	—

5 出席職員

No	氏名	所属・役職など	担当分野
1	熊谷 雅英	教育長	—
2	佐藤 勝之	教育次長	—
3	朝岡 将人	生涯学習スポーツ課長	—
4	菅原 栄一	文化振興課長（図書館長・埋蔵文化財センター所長）	—
5	横澤美保子	文化振興課 総括主査	図書館
6	井上 雅孝	埋蔵文化財センター 総括主査	文化財
7	細川 健一	生涯学習スポーツ課 主任主査	生涯学習 社会教育
8	川又 健二	生涯学習スポーツ課 主任主査	スポーツ
9	大井創太郎	文化振興課 主事	文化芸術

6 会議内容

(1) 開会

(2) 教育長あいさつ

(3) 議長と副議長の選出

議長には嶋野重行委員が、副議長には村上四郎委員が選出された。

(4) 議事録署名人の任命

小野保委員と主濱恵悦委員が任命された。

(5) 報告

- ・令和2年度社会教育事業実績について
質疑意見などは特になし

(6) 協議

- ・令和3年度滝沢市社会教育方針と計画について

委員 市の青少年教育に関するセミナーで国立岩手山青少年交流の家をご活用いただきありがとうございます。さて、地域課題解決セミナーで岩手山麓ファミリー探検の内容をお教えいただけますか。

事務局 市内居住の登山ガイド大友晃さんが講師を務め、岩手山馬返し登山口から鞍掛山へと向かう岩手山麓森の道を散策するものです。普段は立入禁止であり盛岡森林管理署の許可を得て行うものです。

委員 コミュニティ・スクール導入になることで教職員の負担過多になるのではと危惧しています。また、SDGsを盛んに謳っていますがISOのようにいつかは跡形もなくなるとも感じています。

委員 元村にある市指定文化財「五龍のフジ」が一本伐採されましたが経緯と経過をお教え願います。他の天然記念物も心配しています。

事務局 角掛神社の所有物「五龍のフジ」が五本ございましたが一本伐採されました。同神社裏山の林が全て伐採されフジが巻き付いているケヤキや杉の大木に山から吹いてくる風が直接当たるようになり、神社の社殿に倒れそうになりました。4月17～19の3日間、強風警報が発令された折、氏子さんたちが神社を確認したときに大変危険と判断し、社殿を守るため緊急避難的に伐採し翌々日教育委員会に報告がありました。市の文化財保護条例上、今回の天然記念物の伐採は事前届出不要の防災上の緊急避難措置と判断しました。今後に向けて、文化財などの所有者の皆さんに条例上の扱いに関する文書をお送りしたところでございます。

委員 市芸術文化協会の副会長を務めておりますが、高齢化が進んでいますので若い会員を増やすため郷土芸能まつりを合同で開催できるよう目指しているところでございます。

委員 SDGsセミナーは素晴らしいです。市内企業者としてSDGsに基づいた取り組みを展開できればとも考えています。この理念は子どもたちにも普及啓発が進んでいます。実は講師を務める丸尾さんと先日お会いしており感銘を受け今後の連携・協働を話し合ったばかりでしたので驚いています。

委員 国際感覚豊かな人づくりを目指して、7月10日に多文化共生地域づくり

セミナーでピクトグラムについて考える素晴らしい機会がありました。これは県国際交流協会が主催で、市教育委員会が共催で、市ユネスコ・国際交流協会が後援によるものです。当日は、高校生や大学生、外国人留学生も多数参加して盛り上がりました。これからも定期的に多文化共生地域づくりセミナーを継続して開催してほしいです。

委員 岩手県における自殺者が実は多いです。不登校や職場でのいじめなどが多いのが理由とも考えていますので効果的な対策を講じてほしいと感じています。

委員 昨年度、私の息子が一本木さんさ踊りに取り組んでいましたがコロナ禍により発表機会が乏しいも動画を地域の皆さんに拝聴いただいた経緯があります。もし、本年度の郷土芸能まつりが中止になったとしても動画の市ホームページ掲載など新たな工夫を講じて頂ければと存じます。

委員 歳末チャリティ演芸会を毎年、滝沢ふるさと交流館にて開催して参りましたが昨年度はコロナ禍により中止を余儀なくされました。本年度は同交流館がワクチン接種会場となったことやビッググループ滝沢も有料であるため未定となっていますし、代替研修会も検討しています。

委員 コミュニティ・スクール導入ですが、地域の皆さんと連携・協働しながら教職員の負担過多とならない仕組みづくりに取り組んで参ります。

(7) 講演

・演題：コミュニティ・スクールについて

・講師：岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課

主任指導主事（地域学校連携担当）片方 元昭（かたがた もとあき）氏
質疑意見など

委員 コミュニティ・スクール導入を図っても教職員の負担過多にはならないとの説明でしたが私にはそう思えません。子どもたちと接する時間がなくなってしまうとの危惧があります。

事務局 学校運営協議会委員報酬について話題に挙がりましたが必須ですか。

講師 学校運営協議会委員は非常勤特別職の扱いとなるので報酬は発生します。但し、市町村によっては報酬をゼロとしたり年額3千円する事例もあります。

事務局 滝沢市は教育振興運動を従来通り進めながら、足りなかった組織と規約を補うことで学校と地域の連携・協働を更に図ることができると考えています。

教育振興運動実践区を学校教育振興協議会と名称変更し3年掛けて組織化を図りました。かつて存在した学校評議員制度では一校数人程度の評議員を15～20人程度に拡充。自治会や民生児童委員、スクールガード、読書ボランティア、郷土芸能指導者など今まで学校を支援くださる地域代表の皆さんに入っただき組織構成を図り、国が示すコミュニティ・スクールに近いものを作り上げました。

そして、本年度内に規約を作成し報酬についても協議を重ねながら令和4年4月には滝沢市もコミュニティ・スクールが導入されます。

従来より教育振興運動の積み重ねにより、地域の皆さんに子どもたちを育てて頂いております。これに、年に数回学校づくりについて話し合う場が加わることになり教職員の負担過多にはならないと考えております。

委員 今の説明で分かったような気がします。新しい組織を立ち上げるのではなく既存のものを活かしたものであれば教職員の負担過多にはならないものと確認できました。